

環境調査結果のお知らせ

令和5年2月16日午前に野見湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は水温が15.2～15.7℃、塩分が34.3～34.4、溶存酸素量が7.7～8.8 mg/Lでした。
大室戸の水温、塩分及び溶存酸素量のデータは機器の不調により欠測となっています。
湾内の透明度は6.0～9.0mでした。
検鏡の結果、麻痺性貝毒の原因となるアレキサンドリウム属が最高で23 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所又は水産試験場までご連絡ください。

水温と塩分(表1・2)

水温は15.2～15.7℃、塩分は34.3～34.4でした。
前回調査時(R5.2.16)と比較して、水温は全層で0.3～0.4℃低下し、塩分は全層で0.1～0.2上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は7.7～8.8mg/Lでした。
前回調査時と比較して、全層で0.3～0.5mg/L増加しました。

透明度・プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は6.0～9.0mでした。
検鏡の結果、麻痺性貝毒の原因となるアレキサンドリウム属が最高で23 cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

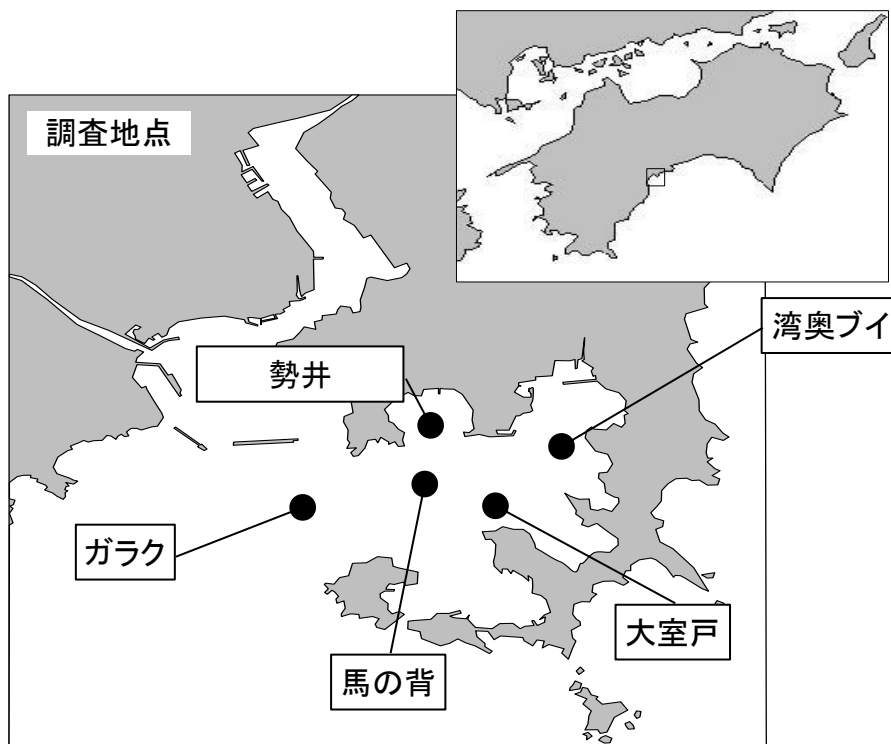


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R5.1.24)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	15.5	15.6	15.7	-	15.6	15.6	16.0	▲ 0.4
2m	15.4	15.6	15.7	-	15.6	15.6	16.0	▲ 0.4
5m	15.4	15.5	15.6	-	15.5	15.5	15.9	▲ 0.4
10m	15.4	15.5	15.6	-	15.5	15.5	15.9	▲ 0.4
B-1m	15.2	15.2	15.6	-	15.3	15.3	15.6	▲ 0.3

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R5.1.24)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	34.4	34.3	34.3	-	34.3	34.3	34.2	0.1
2m	34.4	34.4	34.4	-	34.4	34.4	34.2	0.2
5m	34.4	34.4	34.4	-	34.4	34.4	34.3	0.1
10m	34.4	34.4	34.4	-	34.4	34.4	34.3	0.1
B-1m	34.4	34.4	34.4	-	34.4	34.4	34.2	0.2

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	白浜	漁場平均※	前回調査(R5.1.24)	
							漁場平均※	前回との差 今回-前回
0m	8.8	8.4	8.0	-	7.8	8.3	7.9	0.4
2m	8.6	8.3	8.0	-	7.8	8.2	7.9	0.3
5m	8.6	8.1	8.0	-	7.7	8.1	7.7	0.4
10m	8.4	8.0	8.0	-	7.7	8.0	7.6	0.4
B-1m	8.3	8.4	7.9	-	7.9	8.1	7.6	0.5

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	大室戸	勢井
水深	17.0	21.8	15.2	20.7	20.0
透明度	6.0	7.1	9.0	6.4	7.2
前回(1/24)	7.0	8.5	9.5	7.5	9.0

表5 プランクトン(cells/mL)

調査地点	水深	アレキサンドリウム属	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	14
	2m	4	120
	5m	23	45
大室戸	0m	3	180
	2m	0	35
	5m	13	18
馬の背	0m	0	40
	2m	3	21
	5m	8	15
勢井	0m	0	60
	2m	1	100
	5m	3	24
ガラク	0m	0	40
	2m	0	26
	5m	0	40